

統計アラカルト

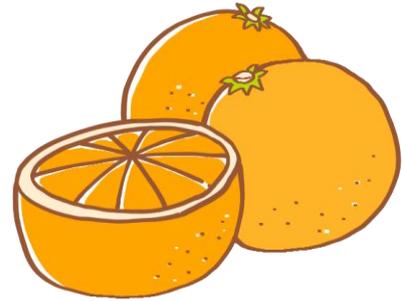
熊本の統計情報 令和元年10月10日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページです。

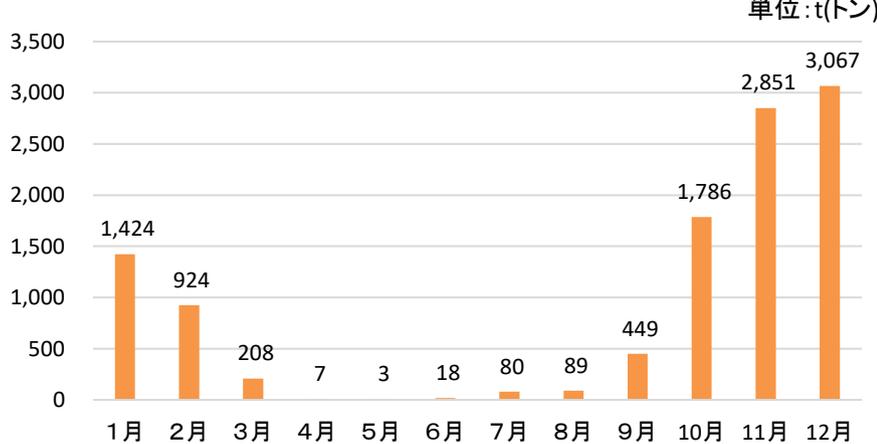
随時色々な統計に関する話題・データを紹介します。

いかがお過ごしですか？

うだるような暑い夏が終わり、季節は秋を迎えました。暑すぎることも寒すぎることもなく、虫の音が耳に快く過ごしやすい季節ですね。秋といえば、柿やナスなど旬の作物が多く、みかん狩りも始まります。今回は、これから旬を迎えるみかんなどの果物について調べてみました。



みかん等月別卸売数量(2017年)



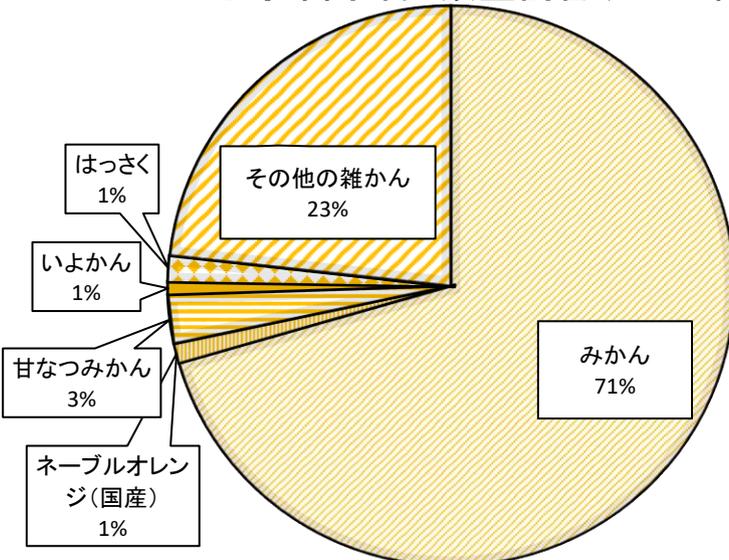
(出典:農林水産省消費統計室「平成29年青果物卸売市場調査報告」(熊本市青果市場)の数値を加工して作成。以下同様。)

左のグラフは、熊本市青果市場におけるみかん等の月別卸売数量を表しています。

1月から3月にかけては販売量が減少し、4月から6月にかけてはほとんど売られていません。

対して、盛夏の7月からは少しずつ卸売数量が増加し始め、8月から9月にかけて、9月から10月にかけては大幅に増加しています。そして、12月に販売のピークを迎えています。

みかん等年間卸売数量割合(2017年)



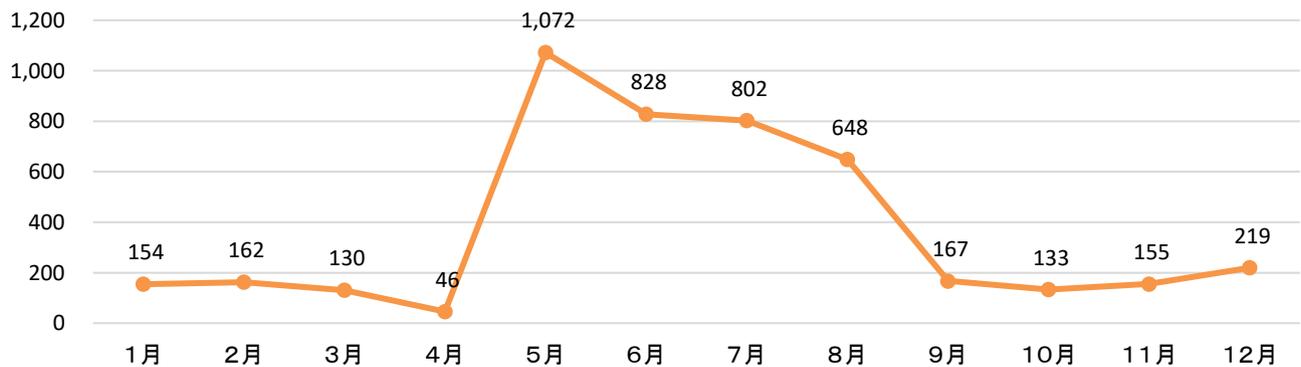
次に、みかん等の年間卸売数量割合を見てみましょう。

全体の大部分、約70%を占めるのはみかんであることがわかります。

一方、ネーブルオレンジ(国産)や甘なつみかん、いよかんやはっさくについて見ると、みかんに比べて非常に割合が低いことがわかります。みかんの次に割合が多い甘なつみかんでも、その割合はわずか3%です。

みかんの月別卸売価格(2017年)

単位:円/kg



では、みかんの価格はどのように推移しているのでしょうか。上のグラフは、熊本市青果市場におけるみかんの月別卸売価格(kg当たり)を表しています。

卸売価格は、4月が46円と最も安く、5月が1,072円と最も高くなっています。最高額を記録した5月の月別卸売数量は、年間を通して最も少ない3トンですね。

また、みかんの月別卸売数量グラフにおいて、卸売数量が200トンを超える1月から3月及び9月から12月の期間は、130円から219円の間で推移しています。

さらに同じ期間でみかんの月別卸売数量グラフを見ると、卸売数量が3,067トンと年間を通して最多である12月の卸売価格が、最も高価格の219円でした。

今回は、みかん等の卸売数量割合やみかんの卸売価格について見てきました。熊本市青果市場においては、甘なつみかんやはっさく等よりもみかんの卸売数量が飛び抜けて多く、そのみかんの卸売価格は5月が一番高くなっています。

これから旬を迎えるみかんです。9月から10月にかけての卸売数量は、2019年も大きく増加するのでしょうか。

今年も味が楽しみです。

熊本県の統計情報は

「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」をご覧ください。

問合せ先: 熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp